

美しいまちづくり条例  
の制定を！



**問** 美しいまち足利の魅力をさらに高めるため、市民と行政が協働で美化運動に取り組む指針となる「美しいまちづくり条例」を制定すべきではないか。

**市長** 本市の美しいまちづくりは市民力のたまものである。今回の御提案を機に改めて本市の実情に即したあり方を研究するとともに、今後まちづくりの主役である市民や団体との協働による取り組みをさらに進めていく。住んでよかった、住んでみたいと思える美しいまち足利市を目指していきたい。



▲市民との協働で実施されているクリーン散歩

**◆労働意欲のある高齢者へのサポートの充実**  
**問** 現役でいつまでも働きたいと希望している高齢者が多くいる。そうした方々が生き生きと働き、相応の収入を得て充実した毎日を送ることができるようなサポートを行うべきと考えるがどうか。

**産業観光部長** 本市ではハローワークや県と連携し、雇用保険の適用拡大などの周知を初め、就労に関する巡回相談会やセミナーを開催するほか、事業主へ高齢者雇用の働きかけを行っている。今後も関係機関と連携し、高齢者の就労支援と企業への啓発に取り組んでいく。

主要政策の総括と  
今後の問う！



**問** 映像のまち構想をさらに進めるのであれば、大学や専門学校に映像関係の学科を設けるよう働きかけるなど、教育面での発信が必要と考える。教育のまち足利ということも十分発揮できると思うがどうか。

**市長** 映像づくりを志す若者が足利に集い、あるいは住んで、まちのあちこちで映像づくりについて議論を交わし、それを遠くから市民が温かく見守っている、そんな風景が本構想に関する私の一つのイメージである。大学や専門学校に映像に関係する学科を設けてもらえるよう、この構想が大きく育っていくイメージを持って進んでいきたい。



▲プロの映画監督等が講師となった「あしかが映像まつり」ワークショップの様子

**◆道の駅**  
**問** 道の駅は運営母体の体制づくりが重要と考える。場所等も含め慎重な検討が必要と思うがどうか。

**都市建設部長** 道の駅はつくって終わりではなく、その後の管理運営が非常に重要になってくる。その運営母体を第三セクターや民間に委託するという先進事例もあることから、どのような道の駅が本市に合うのか、商品の供給体制や施設の規模も含め、今後検討したい。

早急に学校施設整備を！



**問** 学校のトイレは洋式化が42%と整備が遅れている。早急な改善が求められるが、洋式化に向けた整備計画をどのように考えているのか。

**教育次長** 学校のトイレは設置後40年を経過したものもあり、計画的な老朽化対策が必要な状況にある。そこで、より経済的で効果的な改修方法を検討し、校舎の縦区画を単位として区画ごとに便器の洋式化等を実施することとした。平成29年度から順次整備を行いたいと考えている。

◆認知症対策

**問** 認知症は、適切な対応をすることにより予防することが可能であるとわかってきたが、本市では認知症を予防するためどのように取り組んでいるのか。

**健康福祉部長** 本市では認知症地域支援推進員を配置するほか、認知症カフェなどを積極的に開催し、予防に取り組んでいる。また、医師や保健師等の専門職で構成する「認知症初期集中支援チーム」が認知症の早期発見と治療に効果を上げているほか、医師会等と連絡会議を立ち上げ、高齢者の在宅医療と介護の情報共有や対応を検討している。

※中島議員の一般質問は、平成28年12月12日に行われました。